

入選

ちいさなしんせつ

徳島県 八万小学校 一年
仁木 陽太

ぼくは、なつやすみに、まいにちおかあさんとおしごとにいきました。学校のしゅくだいをしたり、おかしをたべたり、ゲームをしたりしました。ときどきねむくなって、ゆかでねたりしました。

ぼくがひまそうにしていると、おかあさんのおしごとの「あけのさん」という人が、おりがみでぼくの大きなきょうりゅうをつくってくれました。

プテラノドン、ティラノサウルス、カルノサウルス、スピノサウルス、トリケラトプス、ほかにもいっぱいつくってくれました。おりがみのきょうりゅうであそぶのがたのしくて、おしごとに行くのが大きになりました。あけのさんがしてくれたしんせつ、すごくうれしかったです。

ぼくは、おかあさんといっしょにかんがえて、あけのさんにおかえしをすることにしました。ぼくは、むずかしいおりがみはできないので、おりがみとえをあげることにしました。「ありがとう」のおてがみと、えはおりがみのきょうりゅうのえをかきました。

おしごとのときにわたしたら、

「ありがとう。うれしい。」と、よろこんでくれました。

それと、おしごとのぼしょのそうじもしました。おかあさんに、そうじきはおとが大きすぎるといわれたので、ぞうきんでゆかをふきました。へやがひろくてたいへんだっだけれど、たのしかったです。

ぼくがそうじをしていたら、おしごとの人みんなが、

「ありがとう。」

といってほめてくれて、おかしをくれました。あけのさんは、こんどはいつもより大きなおりがみで、いつものきょうりゅうよりも大きなきょうりゅうをくれました。まえにもらったきょうりゅうもかっこよかったけれど、この日にもらったきょうりゅうは、もっともっとかっこよくてうれしかったです。

ぼくのきょうりゅうコレクションのあきかんには、大きすぎて入らないので、大きいはこがほしいです。

しんせつをされると、なにかしたくなりました。しんせつをすると、またかえってきました。しんせつは、してもされても、すごくうれしいきもちになりました。しんせつはずっとつづくので、ぼくはいましているしんせつを、これからもずっとつづけていきたいとおもいます。

このなつやすみにしたしんせつは、そうじだったけれど、しんせつはほかにもいっぱいあって、学校でできるしんせつもあると、おかあさんがいっていました。おともだちのえんぴつがおちていたらひろってあげたり、けしごむをわすれているおともだちがいたらかしてあげたり、先生がにもつをいっぱいもっていたら、おてつだいをしたりします。

ぼくは、2がっきがはじまったら、学校でもたくさんのしんせつをしようとおもいます。そして、おともだちにいっぱいよろこんでもらえたら、ぼくもうれしいです。